

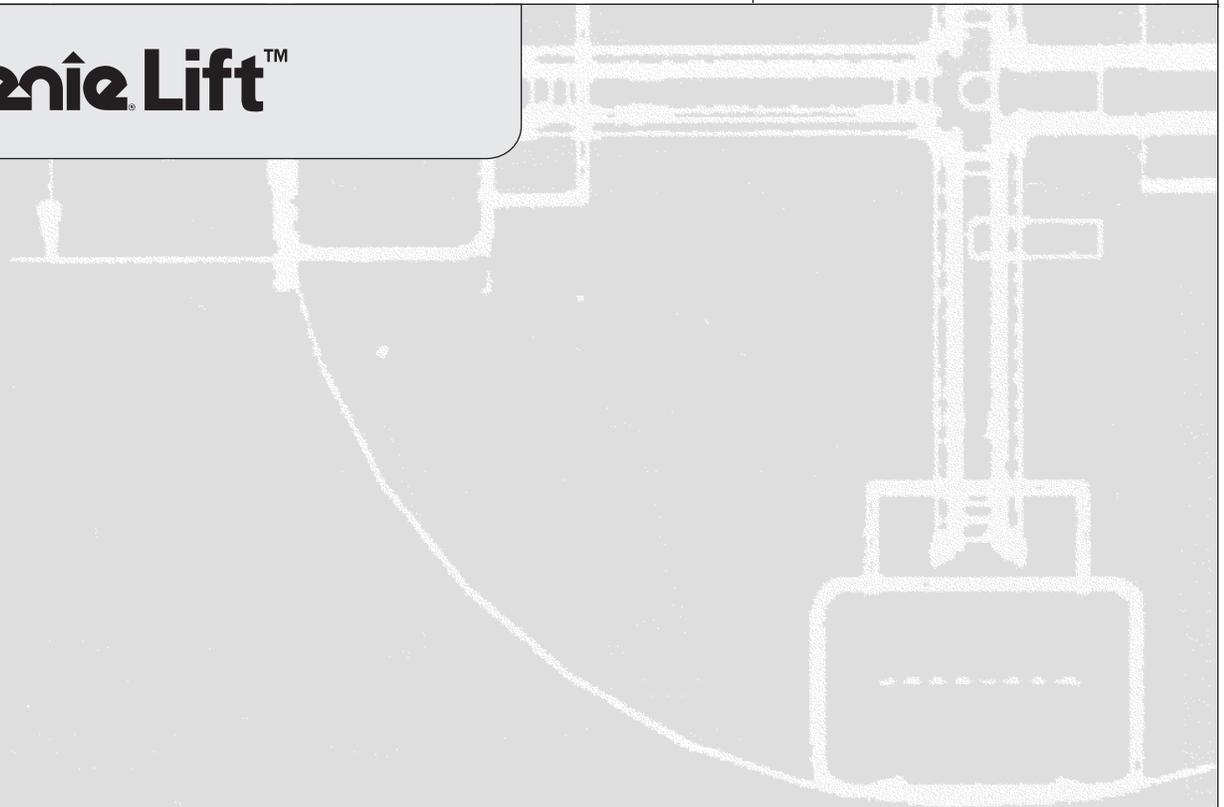
# Genie®

## 操作説明書



First Edition  
Seventh Printing  
Part No. 35566JA

### Genie Lift™



## 重要

本機械を操作する前に、操作説明書の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け、認定されている担当者のみ機械を操作することが許されています。質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

## 目次

	ページ
安全規則 .....	1
説明 .....	6
操作前の点検 .....	8
機能テスト .....	10
作業場の点検 .....	13
操作手順 .....	14
バッテリーと充電器の操作手順 .....	16
輸送手順 .....	17
積載荷重量表 .....	18
ステッカー .....	20
仕様 .....	22

## お問合せ先：

インターネット：<http://www.genielift.com>  
電子メール：[techpub@genieind.com](mailto:techpub@genieind.com)

Copyright © 1995 Genie Industries

初版： 第6刷 2004年12月

初版： 第7刷 2008年8月

「Genie」は米国およびその他の国における Genie Industries の登録商標です。

 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

# 安全規則



---

## 警告

本説明書の操作指示と安全規則に従わない場合は、重傷または死に至ることがあります。

---

## 操作を行う必須条件：

- 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
  - 1 危険な状態での使用を避ける。**  
次のセクションに進む前に、安全規則を理解し、心得てください。
  - 2 常に操作前の点検を行う。
  - 3 使用する前に常に機能テストを行う。
  - 4 作業場を点検する。
  - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。
- 製品使用説明書と安全規則 - 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。
- 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。
- 適合する全ての法規をよく読み、理解し、それに従う。
- 使用者が安全な機械操作のための適切なトレーニングを受けている。

安全規則

### 落下の危険

人員運搬用作業台または踏み台として使用しないでください。

フォークや荷台、またはブームの上に立ったり座ったりしないでください。

機械に登らないでください。



### 転倒の危険

最大積載荷重量を超えないでください。積載荷重量表のセクションを参照してください。

レッグロックピンが適切にレッグに挿入されていない場合は、積荷を上げないでください。

正しい長さのレッグが適切に取り付けられていない場合は、積荷を上げないでください。

機械がしっかりとした平らな地面に設置されている場合以外は、積荷を上昇しないでください。



位置の微調整を行う以外、積載が上昇した状態で機械を移動しないでください。

積荷を上げた状態で機械を後方に傾けないでください。

ブロックを使用して、機械を水平にしないでください。

強風や突風の中で機械を操作しないでください。強風の状態では、積荷の表面積が増加すると、機械の安定性が低下します。

機械どの部分にもはしごや足場を組まないでください。

ホイール、脚、およびキャスターが適切に取り付けられていない場合は、機械を操作しないでください。

操作を始める前に、作業現場に急に低くなっている場所、くぼみやもりあがった箇所、障害物、不安定な地面、滑りやすい表面、またその他の危険な状態がないことを確認してください。

レッグが取り付けられていない状態で機械を移動する場合、障害物のある場所や平らでない場所を避けてください。

機械の安定性や構造に大きくかかわる部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

機械に水平力あるいは側面荷重を与える原因になるので、固定されている荷やぶら下がっている状態の荷を上下しないでください。

移動中または移動する可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

### 衝突の危険

積荷が適切にフォークまたは荷台の中心に配置されていない場合は、積荷を上げないでください。

作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことをチェックしてください。

積荷を上げるとき、機械の下に立たないでください。また、機械の下に他の作業員がいないことを確認してください。

積荷の下に人がいないこと、また障害物がないことを確かめてから、積荷を下げてください。

傾斜地や階段で機械を移動する場合は、常識的な判断と手順をもって行ってください。

フレームのみぞには、適切な潤滑を保ってください。操作前の点検のセクションを参照してください。フレームのみぞが適切に潤滑されていないと、動きが引っかかったり止まったりすることがあり、積荷の位置がずれたり、積荷が落下する場合があります。



## 感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流に接触した場合や近づいた場合は電流から保護されません。

適用する法規および次の表に従って、電線および電気機器から安全な距離を保ってください。

電圧 範囲	安全上の 最低距離 メートル
0~300V	接触を避ける
300V~50KV	3.1
50KV~200KV	4.6
200KV~350KV	6.1
350KV~500KV	7.6
500KV~750KV	10.7
750KV~1000KV	13.7

マストの動きや電線の揺れやたるみを考慮し、強風および突風に注意してください。

機械が通電している電線に接触している場合、機械に近づかないでください。通電している電線の電気が止められるまで、作業員は絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

溶接するときに機械にアースを接地しないでください。

## 人体への傷害の危険

ケーブルを握らないでください。

滑車やキャリッジなど、手や指をはさむ可能性のある場所には触れないでください。

フレームに腕、手、指を入れないでください。

## 誤った使用による危険

積荷している機械からは、絶対に離れないでください。権限のない人が適切な指示なしに機械を操作すると、危険な状態を招く恐れがあります。

## 機械の故障の危険



損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

ケーブルに磨耗、ほぐれ、よじれ、あるいは損傷がある場合は、機械を使用しないでください。

キャリッジが完全に下がっている状態でウィンチドラムにケーブルが4巻き以下しか残っていない機械は、機械を使用しないでください。

機械を使用する度に、操作前の点検を完全に行ってください。

すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあることを確認してください。

ウィンチに潤滑油を差して、常に適切な状態に保ってください。詳細については、Genie Lift 部品およびサービスマニュアルを参照してください。ブレーキ表面にオイルや油脂がつかないように注意してください。

## 手のケガの危険

ブレーキがロックされるまで、ウィンチハンドルをしっかりと押さえてください。積荷によってウィンチハンドルが回らなくなると、ブレーキがロックされます。

## リフトの危険

機械に積荷する際および機械を傾ける場合や階段で機械を移動する場合には、適切な手段で行ってください。

機械に4点キャスターオプションを装備している場合は、機械を階段で移動しないでください。

## 安全規則

**はしごの安全規約****落下の危険**

足場としてはしごを使用しないでください。

はしごに座らないでください。

手を伸ばしすぎないでください。両側面レールの中央に体の重心を置いてください。

はしごの最上段を踏み台として使用しないでください。

**転倒の危険**

はしごの最大積載重量の113 kgを超えないでください。

はしごに負荷をかけすぎないでください。  
はしごの定員は一名です。

はしごが適切にセットアップされていない場合は、使用しないでください。

使用中に、はしごを移動させないでください。はしごの側面を押したり、引っ張ったりすることは避けてください。

滑りやすい地面ではしごを設置しないでください。

ブロックを使用して、はしごをまっすぐにしないでください。

**電動ウィンチの安全規約****感電の危険**

DC バッテリー充電器を操作する場合は、接地されている AC 回路に接続されているアース付 3 ピン延長コードを必ず使用してください。アース付 3 ピンプラグを改造したり、使用不能な状態にしないでください。

**転倒の危険**

最大積載荷重量を超えないでください。積載荷重量表のセクションを参照してください。

標準ベースのモデルには電動ウィンチは使用しないでください。電動ウィンチはストラドルベースモデルにのみ使用できるように設計されています。

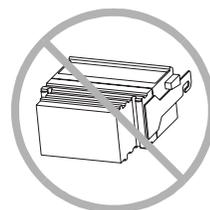
リミットスイッチを変更したり、使用不能にしたりしないでください。

**バッテリーと充電器の安全  
- 電動ウィンチ モデル****熱傷の危険**

バッテリーには酸が入っています。バッテリーに作業を行うときは、常に保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

バッテリーパックは常に直立した状態に維持してください。



## 爆発の危険



バッテリーは爆発性ガスを放出します。火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。

バッテリーの充電は、よく換気された場所で行ってください。

充電器の電源が入っている状態でバッテリーから充電器 DC 出力配線を外さないでください。

## 感電の危険



充電器は、接地されている AC 回路にのみ接続してください。

バッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

使用する前に破損している箇所がないか点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

## リフトの危険

バッテリーパックの重量は 37 kg です。バッテリーを持ち上げるときは、適切な人数の作業員と正しい手段で行ってください。

## ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および警告用語を使用しています。



安全警報シンボル- 作業員にケガの危険があることを示します。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルのあとに示された全ての安全警告に従ってください。

### ▲ 危険



赤- 差し迫った危険があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

### ▲ 警告



オレンジ- 危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

### ▲ 要注意



安全上の警告シンボルを伴った黄色- 危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

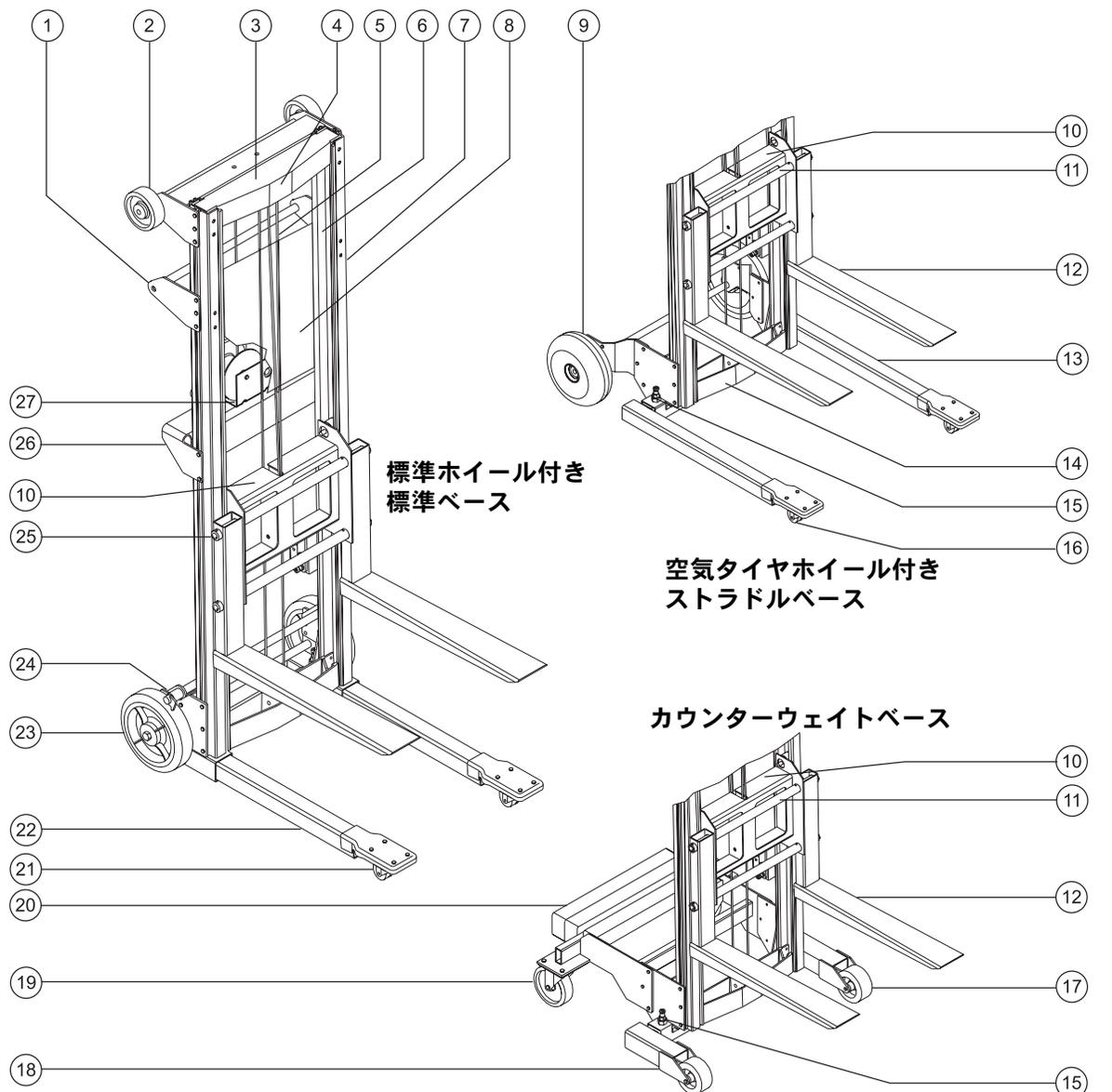
### ▲ 要注意

安全上の警告シンボルがない黄色- 危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

### 注意

緑- 操作情報またはメンテナンス情報を示します。

# 説明

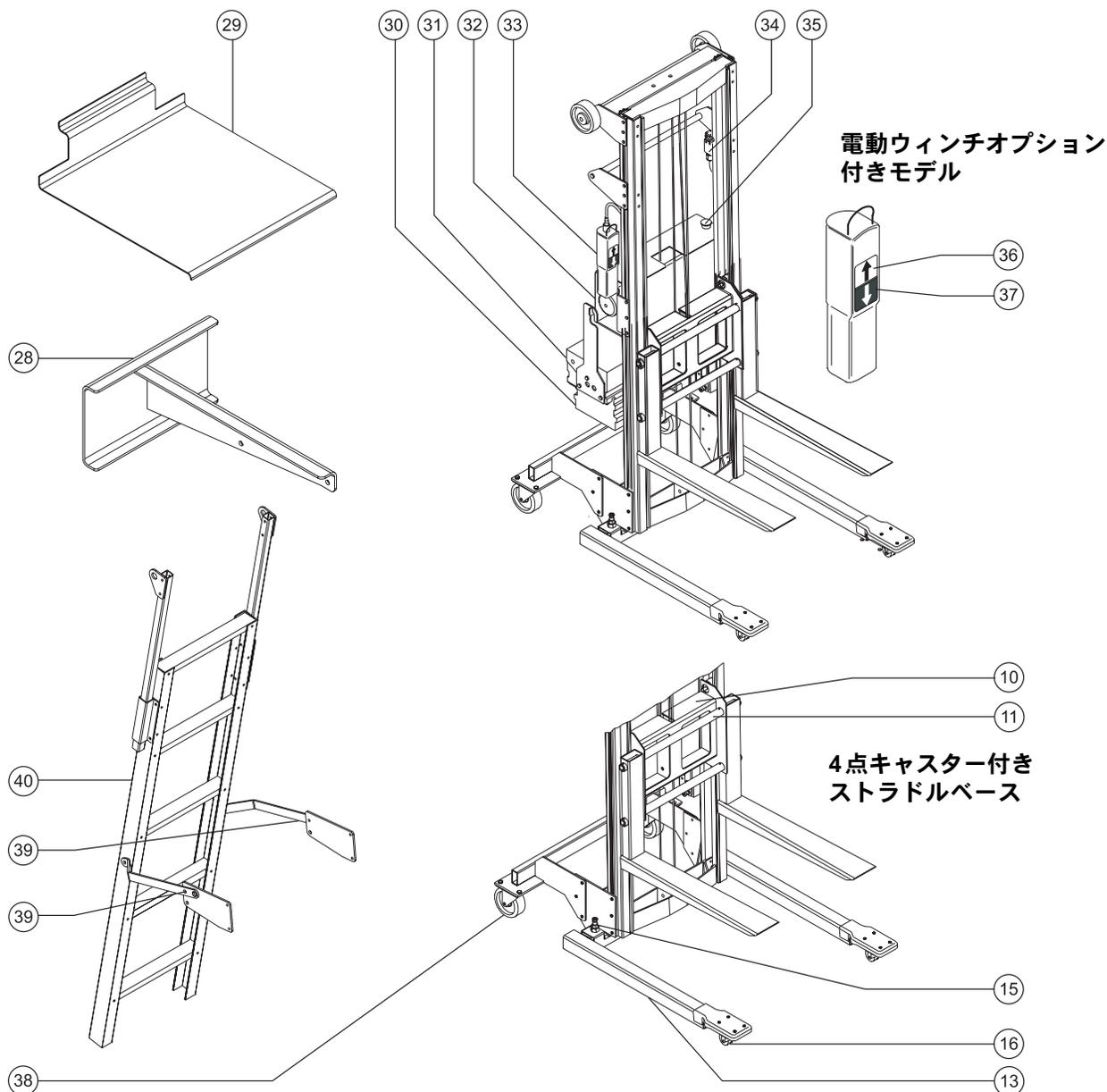


- 1 ハンドル
- 2 ローディングホイール
- 3 上部内側フレーム滑車
- 4 ケーブル錨
- 5 ケーブル
- 6 内側フレーム
- 7 外側フレーム
- 8 ステッカープレート
- 9 空気タイヤホイール
- 10 キャリッジ

- 11 フォーク固定チューブ
- 12 フォーク
- 13 調節可能レグ：ストラドルベース
- 14 下部内側フレーム滑車
- 15 レグロックピン
- 16 キャスター、2インチ：オプションA  
キャスター、2 1/2インチ：オプションB

- 17 ホイール：4インチ固定型
- 18 調節可能レッグカウンターウェイトベース
- 19 キャスター：5インチ回転型
- 20 カウンターウェイトベース
- 21 キャスター：2インチデュアルホイール
- 22 レグ：標準ベース
- 23 ソリッドタイヤホイール

説明



- 24 ブレーキ (オプション)
- 25 フォークロックピン
- 26 ウィンチ固定ブラケット
- 27 ウィンチ
- 28 ブーム (オプション)
- 29 積荷作業台 (オプション)
- 30 電動ウィンチバッテリー

- 31 電動ウィンチ充電器
- 32 電動ウィンチ (オプション)
- 33 電動ウィンチコントロール
- 34 電動ウィンチリミットスイッチ
- 35 赤色非常停止ボタン
- 36 電動ウィンチ操作上昇ボタン

- 37 電動ウィンチ操作  
下昇ボタン
- 38 キャスター、4インチ：  
オプションA  
キャスター、5インチ：  
オプションB
- 39 はしごスナップピン
- 40 はしご (オプション)

# 操作前の点検



## 操作を行う必須条件：

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
  - 1 危険な状態での使用を避ける。
  - 2 常に操作前の点検を行う。  
次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。
  - 3 使用する前に常に機能テストを行う。
  - 4 作業場を点検する。
  - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

## 原則

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見で行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

もし損傷もしくは工場出荷時の状態から何らかの異変が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機械機能をテストする前に再度操作前の点検を行ってください。

## 操作前の点検

- 操作説明書が完備され、文字が読める状態で、利用できる状態であることを確認してください。
- すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあることを確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

- ウィンチと関連部品
- ベース部品
- レッグ
- ローラーホイール
- 内側フレームと外側フレーム
- グライドボタン
- キャリッジ固定アッセンブリ
- ケーブル錨
- ケーブルと滑車
- ホイールとキャスター
- フォーク
- 荷台とブーム（搭載する場合）
- ナット、ボルト、他の締め具
- ケーブル（ねじれ、ほぐれ、磨耗）
- はしご（搭載する場合）
- ブレーキ（搭載する場合）
- リミットスイッチ（電動ウィンチモデル）
- 電動ウィンチと関連部品（搭載する場合）
- 携帯コントロールと配線（電動ウィンチモデル）

機械全体を通して下記をチェックしてください：

- へこみや損傷
- 腐食や酸化
- 溶接や機械部品の割れ
- 機械を構成するどの部品も欠けておらず、適切なファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態になっていることを確認します。
- バッテリー端子とバッテリーの配線すべてを点検し、きれいにします。
- キャリッジが完全に下がっているとき、ウィンチドラムにケーブルが4巻き以上のこっていることを確認します。
- フレームのみぞが十分に潤滑され、ごみが溜まったりしないことを確認します。フレームのみぞは、ドライシリコンのスプレーまたはシリコンワックス (Genie 部品番号 90337) を使って潤滑してください。

# 機能テスト



## 操作を行う必須条件：

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
    - 1 危険な状態での使用を避ける。
    - 2 常に操作前の点検を行う。
    - 3 使用する前に常に機能テストを行う。
- 次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。
- 4 作業場を点検する。
  - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

## 原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従って、全ての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に、再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

## 機能テスト

- 1 障害物がなく、平らで安定している場所でテストを行ってください。

### セットアップ

- 1 機械を後ろに傾けます。
- 2 各フォークをキャリッジにスライドさせ、フォークロックピンで固定します。
- 3 レッグロックピンがレッグにはめ込まれるまで、各レッグをベースソケットにスライドさせます。
- 4 機械を立てます。
- 5 ウィンチハンドルを取り外し、ハンドルを逆にして取り付けます。ハンドルのグリップはオペレータの方を向いているはずですが。
- 6 **ストラドルベース**：任意の幅に調節します。レッグロックピンがレッグにはめ込まれていることを確認します。
- 7 キャリッジの固定バーを回転させ取り外します。



### ブーム

- 1 ブームを垂直位置にします。
- 2 ブームプレートの上部を上部フォーク取付けチューブの下に位置させて、持ち上げます。
- 3 ブームがロックされるまで、下に回転させます。
- 4 リフトシャックルをブームの穴に取り付けます。

### 荷台

- 1 荷台をフォークの上に置きます。
- 2 後方のアングルが下部フォーク固定チューブの下になるまで荷台の前部を持ち上げ、キャリッジに向かって押します。
- 3 荷台がフォークの上の所定の場所にロックされるまで、下に回転させます。

### はしごのセットアップ (搭載されている場合)

- 1 機械を設置します。
- 2 はしごの両サイドのスナップピンを取外します。
- 3 はしごを引き下げます。完全にはしごが下がるまで、はしごをしっかりと押さえてください。

はしごを保管方法：はしごを収納位置まで上昇させ、スナップピンで固定してください。

## 機能テスト

## ブレーキのテスト (搭載されている場合)

- 1 脚ペダルを押して、ブレーキをロックします。
- 2 機械を押してみます。
- ◎ 結果：ホイールは動かないはずです。
- 3 脚ペダルを押しあげて、ブレーキを解除します。
- 4 機械を押してみます。
- ◎ 結果：機械が動くはずです。

## ウィンチのテスト

注記：Genie Lift 4には内部フレームがありません。

- 1 ウィンチハンドルを時計回りに回して、キャリアッジを上昇させます。
- ◎ 結果：キャリアッジが内側フレームの一番上まで上がると、内側フレームが上がります。キャリアッジと内側フレームは、ひっかかったり、つかえたりすることなく、スムーズに動作するはずです。
- 2 ウィンチハンドルを反時計回りに回して、キャリアッジを下げます。
- ◎ 結果：内側フレームが外側フレームに入り、キャリアッジが内側フレームの中に下がります。キャリアッジと内側フレームは、ひっかかったり、つかえたりすることなく、スムーズに動作するはずです。

注意：キャリアッジと内側フレームがスムーズに動作しない場合は、ドライシリコンのスプレーまたはシリコンワックスを使って、フレームのみぞを潤滑する必要があります。

## 電動ウィンチのテスト (搭載されている場合)

注記：Genie Lift 4には内部フレームがありません。

- 1 バッテリーパックを接続します。
- 2 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。
- 3 携帯コントロールの上昇ボタンを押します。
- ◎ 結果：キャリアッジが内側フレームの一番上まで上がると、内側フレームが上がります。キャリアッジと内側フレームは、ひっかかったり、つかえたりすることなく、スムーズに動作するはずです。キャリアッジが最大の高さに達すると、ウィンチが止まります。
- 4 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にします。
- 5 下降ボタンを押し、それから上昇ボタンを押します。
- ◎ 結果：上昇下降機能は作動しません。

# 作業場の点検



## 操作を行う必須条件：

本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

- 1 危険な状態での使用を避ける。
- 2 常に操作前の点検を行う。
- 3 使用する前に常に機能テストを行う。

### 4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

- 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

次の危険な状態に注意し、避けてください：

- ・ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ・ 地面の盛り上がりや床の障害物
- ・ 破片
- ・ 頭上の障害物、高圧送電線
- ・ 危険な場所
- ・ 傾斜面
- ・ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ・ 機械の負荷に耐えられない地面
- ・ 風や天候の状態
- ・ その他起こる可能性のある危険

## 原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全に機械を操作するのに適しているかどうかを判断することができます。作業場の点検は、作業場に機械を移動する前に行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得たうえ、機械の移動、設置、移動時に注意を払い、危険を避けてください。

# 操作手順



## 操作を行う必須条件：

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
  - 1 危険な状態での使用を避ける。
  - 2 常に操作前の点検を行う。
  - 3 使用する前に常に機能テストを行う。
  - 4 作業場を点検する。
  - 5 **決められた用途にのみ機械を使用する。**

## 原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を各機能ごとに説明しています。安全規則や操作説明書の指示に従うことはオペレータの任務です。

機材を持ち上げる目的以外に機械を使用することは危険です。

2人以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、各オペレータが、すべての安全規則と操作説明書の手順に従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前の点検、機能テスト、作業場の点検を行ってください。

## セットアップ

障害物がなく、平らで安定している地面を選択してください。

機能テストセクションのセットアップ手順に従ってください。

## 積荷の上昇と下降-手動ウィンチ

- 1 積荷をフォークまたは荷台の中心に置きます。
- 2 ウィンチハンドルをしっかりと押さえて時計回りに回転させ、積荷を上げます。ケーブルがウィンチドラム上に不均等に巻かれないように注意してください。
- 3 ウィンチハンドルをしっかりと押さえて反時計回りに回転させ、積荷を下げます。任意の位置まで下がったら、ブレーキをセットするため、ウィンチハンドルを時計回り（積荷の上昇方向）に1/4回します。

## 積荷の上昇と下降-電動ウィンチ

- 1 積荷をフォークまたは荷台の中心に置きます。
- 2 バッテリーパックを接続します。
- 3 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。
- 4 手動コントロールの上下ボタンを押して、必要な方向に積荷を移動します。

## 積載した機械の移動

作業場で機械を移動するには、積載していない状態が理想的です。積荷がを載せた状態での移動は、積荷の上げ下ろしと機械位置調整に制限すべきです。積荷を上げた状態で機械を動かす必要がある場合、以下の安全規則を心得え、従ってください。

- ・現場の地面が平らであり、障害物がないことを確認してください。
- ・積荷がフォークまたは荷台の中心に配置されていることを確認してください。
- ・急な発進または停止は避けてください。
- ・積荷をできるだけ低い位置にして、移動してください。
- ・関係者以外は、機械および積荷に近づかないでください。
- ・積荷を上げた状態で機械を後ろに傾けないでください。

## 階段での機械の移動

階段で機械を移動する場合は、オプションの階段用ガイドを使用することが理想的です。階段用ガイドを使用せずに、階段で機器を移動することは推奨されていません。階段で機械を動かす必要がある場合、以下の安全規則を心得え、従ってください。

- ・機械に4点のキャスターオプションが搭載されている場合は、機械を階段で移動しないでください。
- ・積荷を完全に下げてください。
- ・機械を一段ずつゆっくり移動します。ハンドルをしっかりと押さえてください。
- ・機械のバランスが崩れないように注意してください。
- ・注意しながら、階段を昇り（降り）ます。
- ・積荷が重い場合は、適切な人数の作業員と正しい手段で作業を行ってください。
- ・電動ウィンチ付きモデル：バッテリーパックを取り外してください。

## 使用後の注意

機械を保管する場合は、フォークとレッグを取り外し、ウィンチハンドルを逆向きにしてください。セットアップ手順を参照してください。

しっかりとした平らな地面で、風雨にさらされない、障害物や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。

電動ウィンチ付きモデル：バッテリーを充電してください。

## 操作手順



## バッテリーと充電器の操作手順

### 必ず従うこと：

- ☑ 外部充電器またはブースターバッテリーを使用しないでください。
- ☑ よく換気された場所でバッテリーを充電してください。
- ☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。
- ☑ Genie 承認のバッテリーと充電器を使用してください。

## バッテリーの充電

- 1 バッテリーにアクセスするためバッテリーパックの蓋を開けます。
- 2 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー液の量をチェックします。必要に応じてプレートがかくれる程度に蒸留水を入れます。充電の前には液を入れすぎないでください。
- 3 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。
- 4 搭載する場合：電源スイッチをオフの位置にします。DC 出力コードがバッテリーに正しく接続されていること確認します（黒をマイナス、赤をプラスに接続します）。
- 5 接地されている AC 回路に充電器を接続します。
- 6 搭載する場合：AC セレクタースイッチを適切な電圧に設定します。
- 7 電源スイッチを AUTO（自動）の位置にします。
- 8 正確な充電率を電流計で確認します。初期の充電率は約 10A でなければなりません。バッテリーが完全に充電されるにしたがって充電率が下がります。

- 9 手動自動セレクタースイッチを搭載した充電器：電流計がバッテリーが充電されていないと表示した場合、電源スイッチを MANUAL（手動）位置にし、電流計のメモリが上昇し始めたら、電源スイッチを AUTO（自動）の位置にします。
- 10 バッテリーが完全に充電されると、充電池のスイッチが自動的に切れます。搭載する場合：電源スイッチをオフの位置にし、AC 供給電力から外します。
- 11 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに溢れないように注意してください。

## 乾式バッテリーの液注入と充電の手順

- 1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。
- 2 それぞれのセルにプレートがかくれるのに十分な程度のバッテリー液（電解液）を入れます。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、液をいっぱいに入れないでください。入れすぎると、充電中にバッテリー液が溢れることがあります。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

- 3 バッテリー通気孔のキャップを付け直します。
- 4 バッテリーを充電します。
- 5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに溢れないように注意してください。



## 輸送手順

### 必ず従うこと：

- ☑ 車両の最大積載荷重量と積載面が機械の重量を支えるのに十分なものであることを確認してください。機械の重量はシリアルプレートをご覧ください。
- ☑ 運搬車は平らな場所に駐車してください。
- ☑ 輸送のために機械を載せる前に、フォーク、ブームまたは荷台から積荷を降ろします。
- ☑ 機械を載せるときは、動かないよう輸送車両を固定してください。
- ☑ 機械は、輸送車両にしっかりと固定されていなければなりません。

## リフトの手順

機械を持ち上げるには複数の人数を要します。以下の事項を考慮して、適切な人数で作業を行ってください：

- ・ 作業員の健康状態、体力、身体の障害
- ・ 機械を動かす距離（上下と左右）
- ・ 機械を積み降ろしする回数
- ・ 作業員の位置、姿勢およびつかみ場所
- ・ リフトの手段
- ・ リフトを行う現場の状態と天候（滑りやすい、凍っている、雨が降っているなど）

ケガを防ぐために、適切な人数の作業員と正しい手段で作業を行ってください。

## 輸送のための積載

- 1 キャリッジを完全に下げます。
- 2 キャリッジ固定バーをキャリッジの上に回転させます。ロックピンが所定位置にはめ込まれてることを確認してください。
- 3 ウィンチハンドルを取り外し、ハンドルを逆にして取り付けます。ハンドルのグリップはキャリッジに向かっているはずです。
- 4 電動ウィンチ付きモデル：バッテリーパックを取り外します。

# 積載荷重量表



## 必ず従うこと：

- ☑ 積荷を適切に配置しないと、重傷を負ったり死に至る可能性があります。
- ☑ 上昇する積荷が、積載中心点の最大積載量を超えていないか確認してください。次のページの積載荷重量表を参照してください。

**▲ 警告** 転倒の危険。機械の最大積載荷重量を超えた積荷を上げると、重傷を負ったり死に至る場合があります。

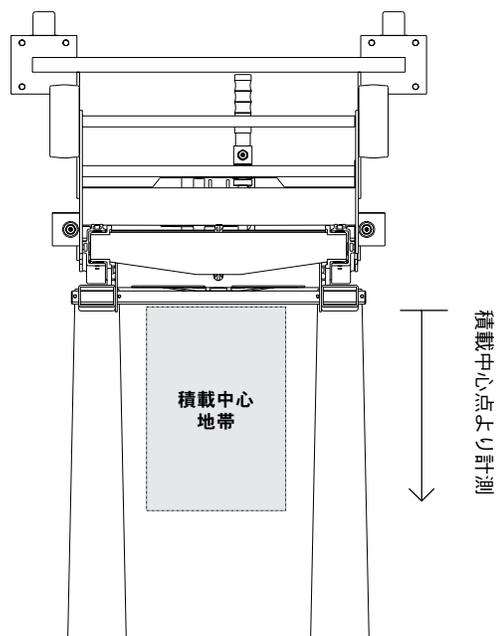
- ☑ 積載中心点は積荷の均衡点（重力の中心）として定義され、積荷中心地帯内になければなりません。

**▲ 警告** 転倒の危険。積荷が適切に積荷中心地帯に配置されていないと、重傷を負ったり死に至る場合があります。

## フォーク

### 積荷配置手順

- 1 積荷の重量と積載中心点の場所を決めます。
- 2 荷台に最も近い積荷から積載中心点を計測します。
- 3 次ページの表を参照し、現在のフォークの位置において、機械が積載重量を持ち上げることができるかどうかを判断します。
- 4 できるだけ荷台に近くなるように、フォークに積荷を配置します。
- 5 積載中心点が積載中心地帯内になるように、積荷を置きます。



## 積載荷重量表

フォーク積載荷重量表			
cm		30	35
モデル			
GL-4	kg	227	227
GL-8	kg	181	181
GL-10	kg	159	159
GL-12	kg	159	159

## 最大積載重量中心点

(荷台の前方より計測)

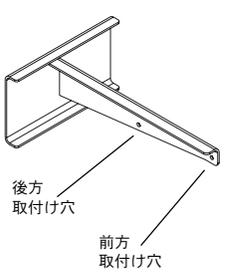
フォーク：	35 cm
荷台：	35 cm
ブーム：	51 cm

## ブーム

## 積荷配置手順

- 1 積荷の重量と積載中心点の場所を決めます。
- 2 下の表を参照し、ブームの位置において、機械がこの重量を持ち上げることができるかどうかを判断します。
- 3 リフトシャックルをブームの穴に取り付けます。

ブーム積載荷重量表			
モデル		前方 穴	後方 穴
GL-4	kg	136	227
GL-8	kg	109	181
GL-10	kg	95	159
GL-12	kg	95	159



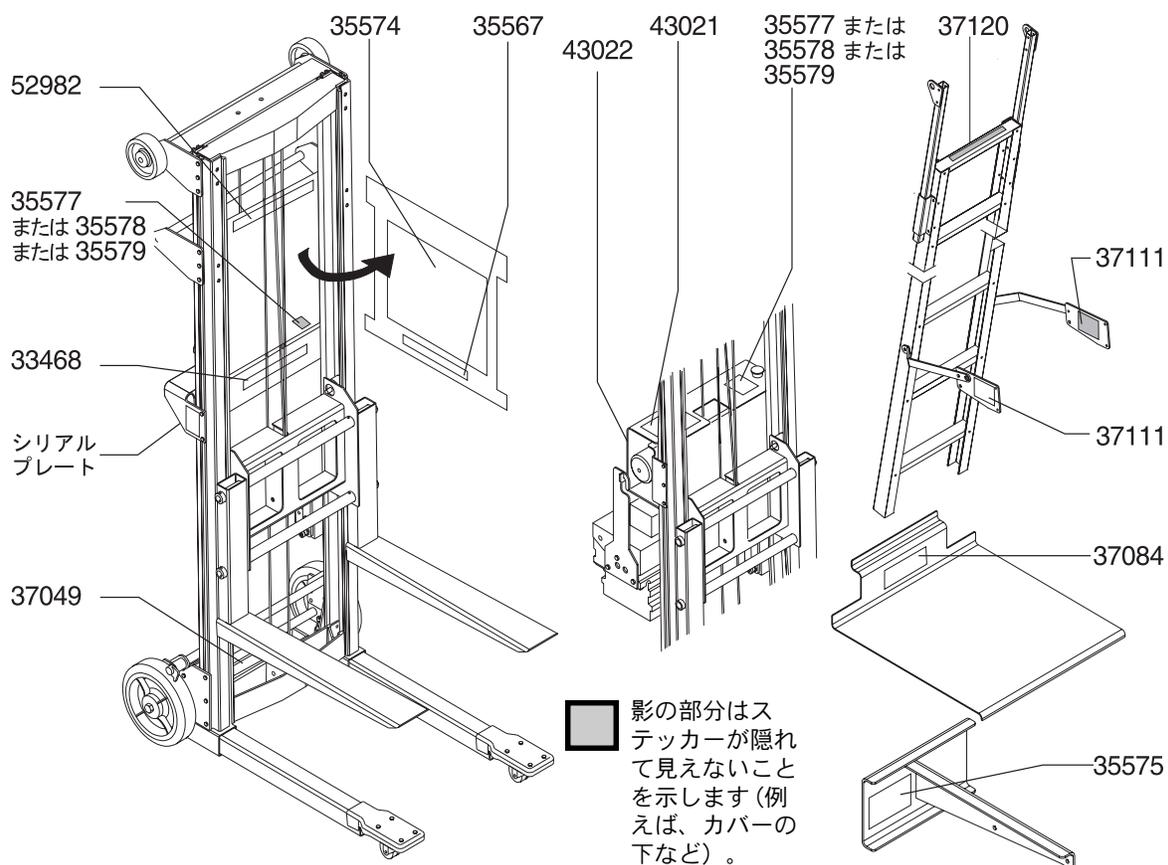
# ステッカー

## 警告用語のついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	名称	数量
33468JA	警告 - 乗車禁止	1
35567JA	警告 - 人体への障害の危険	1
35574JA	警告 - 機械の安全規則/セットアップ	1
35575JA	注意 - ブームのセットアップ	1
35577JA	注意 - 最大積載荷重量、159 kg、GL-10、GL-12	1
35578JA	注意 - 最大積載荷重量、181 kg、GL-8	1

品番	名称	数量
35579JA	注意 - 最大積載荷重量、227 kg、GL-4	1
37049JA	警告 - 転倒の危険	1
37084JA	注意 - 荷台のセットアップ	1
37111JA	警告 - はしごの安全規則/セットアップ	1
37120JA	警告 - のぼらないでください	1
43021JA	警告/注意 - 電動ウィンチの安全規則	1
43022JA	危険/注意 - 電動ウィンチのバッテリーの安全規則	1
52982	外装 - Genie Lift	1
82959JA	危険 - 感電の危険	1
97529JA	要注意 - 人体への障害の危険	1



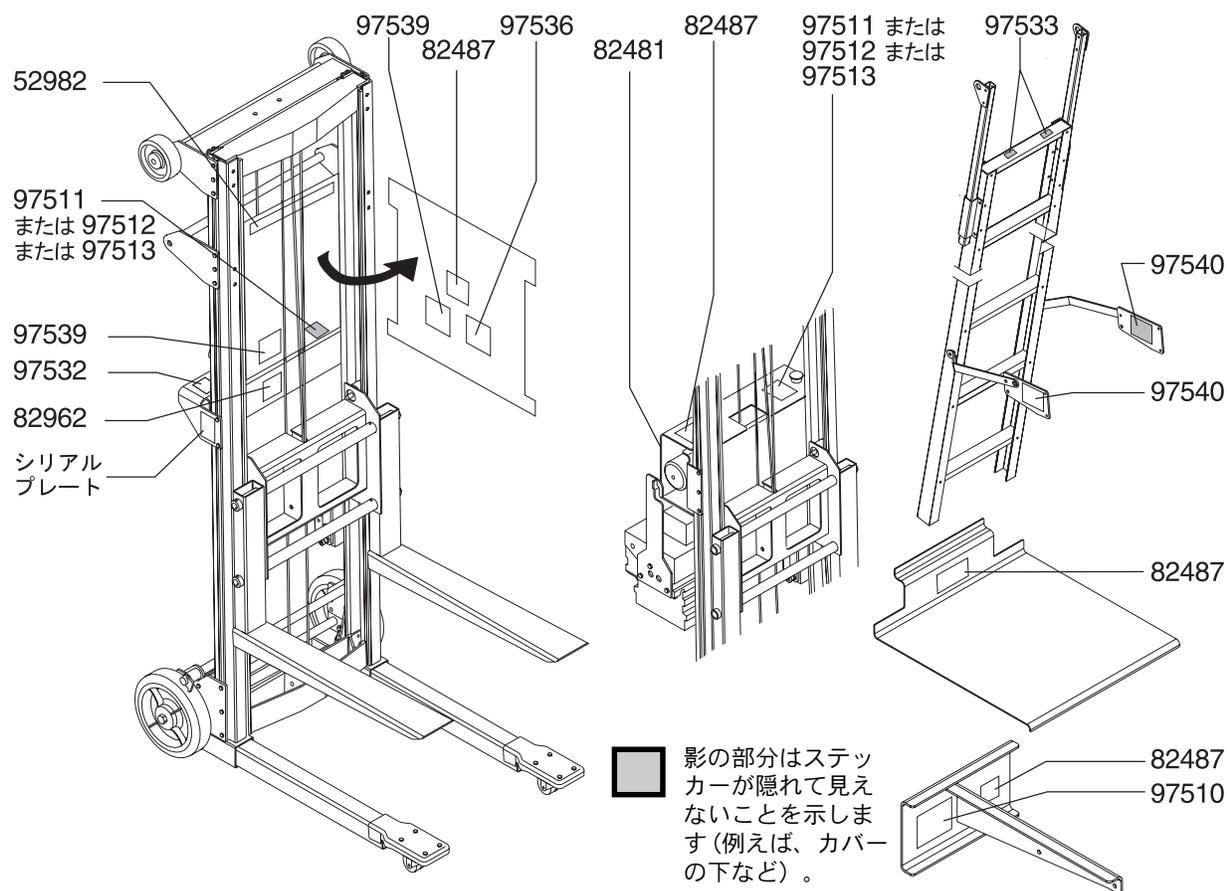
ステッカー

### シンボルのついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	名称	数量
52982	外装 - Genie Lift	1
82481	危険 - バッテリーの安全	1
82487	ラベル - マニュアルを参照	3
82962	警告 - 乗車禁止	1

品番	名称	数量
97510	警告 - ブームのセットアップ	1
97511	警告 - 最大積載荷重量、159 kg GL-10、GL-12	1
97512	警告 - 最大積載荷重量、181 kg、GL-18	1
97513	警告 - 最大積載荷重量、227 kg、GL-4	1
97532	要注意 - 人体への傷害の危険	1
97533	警告 - 足場ではありません。	2
97536	警告 - 触れないでください。	1
97539	危険 - 感電の危険	2
97540	警告 - 最大積載荷重量、113 kg	2



# 仕様

モデル	GL-4	GL-8	GL-10	GL-12
高さ、最大リフト フォークが上昇した状態	1.8 m	3.06 m	3.6 m	4.2 m
高さ、最大リフト フォークが下降した状態	1.2 m	2.5 m	3 m	3.7 m
高さ、リフト最小 フォークが下降した状態	8.9 cm	8.9 cm	5.1 cm	5.1 cm
リフト積載荷重量 30.5 cm 積載中心点	227 kg	181 kg	159 kg	159 kg
<b>機械の重量</b>	次のページの仕様を参照してください。			
高さ、収納時*	1.7 m	1.7 m	2 m	2.3 m
最低地上高さ*	1.9 cm	1.9 cm	1.9 cm	1.9 cm
<b>標準ベース</b>				
幅	62.9 cm	62.9 cm	—	—
奥行き - 収納時	30.5 cm	30.5 cm	—	—
奥行き - 操作時	88.3 cm	88.3 cm	—	—
<b>ストラドルベース</b>				
幅 - 収納時	73 cm	73 cm	73 cm	73 cm
幅 - 延長時	1.1 m	1.1 m	1.1 m	1.1 m
奥行き - 操作時	48.9 cm	48.9 cm	48.9 cm	48.9 cm
奥行き - 操作時	1 m	1 m	1 m	1 m
<b>カウンターウェイトベース</b>				
幅 - 収納時	73 cm	73 cm	73 cm	—
幅 - 延長時	1.1 m	1.1 m	1.1 m	—
奥行き - 操作時	72.4 cm	72.4 cm	72.4 cm	—
<b>機械による騒音</b>				
標準的な作業場での最大音量 (騒音レベル)				
手動ウィンチ	90 dB	90 dB	90 dB	90 dB
電動ウィンチ	95 dB	95 dB	95 dB	95 dB

\* 10インチの空気タイヤ後方ホイールオプションを追加すると、仕様の寸法が 2.5 cm 増加します。

\* 4点キャスターオプションBを追加すると、仕様の寸法が 2.5 cm 増加します。

\* カウンターウェイトを追加すると、仕様の寸法が 2.5 cm 増加します。

仕様

モデル	GL-4	GL-8	GL-10	GL-12
<b>フォーク</b>				
長さ	57.2 cm	57.2 cm	57.2 cm	57.2 cm
幅	52.1 cm	52.1 cm	52.1 cm	52.1 cm
<b>荷台</b>				
長さ	58.4 cm	58.4 cm	58.4 cm	58.4 cm
幅	55.9 cm	55.9 cm	55.9 cm	55.9 cm

## 機械構成

ベース:標準ベース  
GL-4とGL-8

\*ホイールとキャスター:

空気タイヤオプション

前方: 21/2インチ旋回キャスター  
後方: 10インチ 空気タイヤホイール

ベース:ストラドルベース  
GL-4、GL-8、GL-10とGL-12

\*ホイールとキャスター:

空気タイヤオプション

前方: 21/2インチ旋回キャスター  
後方: 10インチ 空気タイヤホイール

4点キャスターオプションA

前方: 2インチデュアルホイール旋回  
キャスター  
後方: 4インチ旋回キャスター

4点キャスターオプションB

前方: 21/2インチ旋回キャスター  
後方: サイドブレーキと4点回転ロック  
付き5インチ旋回キャスター

ベース:カウンターウェイト  
GL-4、GL-8、GL-10

\*\*ホイールとキャスター:

前方: 4インチ固定ホイール  
後方: サイドブレーキ付き  
5インチ旋回キャスター

\*標準またはストラドルベース仕様で、8インチの後方ホイールと2インチのデュアル前方旋回キャスター付きの機械。

\*\*カウンターベース仕様で、5インチ後方旋回キャスター付き、サイドブレーキと4インチ前方固定ホイール付の機械。

## 機械の重量

**Genie Lift 4**

ベース:	キャスターオプション:	重量:
標準	標準	51 kg
標準	空気タイヤ	53 kg
ストラドル	標準	57 kg
ストラドル	空気タイヤ	59 kg
ストラドル	4点キャスターA	62 kg
ストラドル	4点キャスターB	63 kg
カウンター	標準	178 kg
ウェイト		

**Genie Lift 8**

ベース:	キャスターオプション:	重量:
標準	標準	60 kg
標準	空気タイヤ	62 kg
ストラドル	標準	66 kg
ストラドル	空気タイヤ	68 kg
ストラドル	4点キャスターA	71 kg
ストラドル	4点キャスターB	72 kg
カウンター	標準	186 kg
ウェイト		

**Genie Lift 10**

ベース:	キャスターオプション:	重量:
ストラドル	標準	68 kg
ストラドル	空気タイヤ	69 kg
ストラドル	4点キャスターA	73 kg
ストラドル	4点キャスターB	73 kg
カウンター	標準	188 kg
ウェイト		

**Genie Lift 12**

ベース:	キャスターオプション:	重量:
ストラドル	標準	70 kg
ストラドル	空気タイヤ	72 kg
ストラドル	4点キャスターA	75 kg
ストラドル	4点キャスターB	76 kg

電動ウィンチオプションを追加すると、上記の仕様が47 kg 増加します。

---

**Genie Scandinavia**  
Tel. +46 31 575100  
Fax +46 31 579020

---

**Genie France**  
Tel. +33 (0)2 37 26 09 99  
Fax +33 (0)2 37 26 09 98

---

**Genie Iberica**  
Tel. +34 93 579 5042  
Fax +34 93 579 5059

---

**Genie Germany**  
Tel. +49 (0)4202 88520  
Fax +49 (0)4202 8852-20

---

**Genie U.K.**  
Tel. +44 (0)1476 584333  
Fax +44 (0)1476 584334

---

**Genie Mexico City**  
Tel. +52 55 5666 5242  
Fax +52 55 5666 3241

---

**Genie North America**  
Tel. 425.881.1800  
フリー 米国およびカナダ  
ダイヤル 800.536.1800  
Fax 425.883.3475

---

**Genie Australia Pty Ltd.**  
Tel. +61 7 3375 1660  
Fax +61 7 3375 1002

---

**Genie China**  
Tel. +86 21 53852570  
Fax +86 21 53852569

---

**Genie Malaysia**  
Tel. +65 98 480 775  
Fax +65 67 533 544

---

**Genie Japan**  
Tel. +81 3 3453 6082  
Fax +81 3 3453 6083

---

**Genie Korea**  
Tel. +82 25 587 267  
Fax +82 25 583 910

---

**Genie Brasil**  
Tel. +55 11 41 665 755  
Fax +55 11 41 665 754

---

**Genie Holland**  
Tel. +31 183 581 102  
Fax +31 183 581 556

代理店： . .